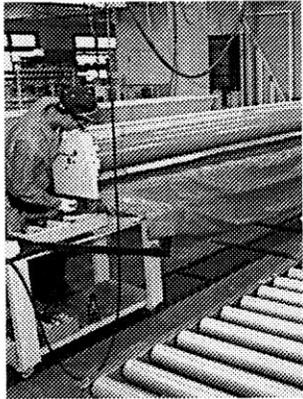


販売好調なシートシャッターの生産ライン



今年四月、科学技術庁の「第五十四回注目発明」に、自社開発の集落排水遠隔監視システム「やくも水神」が選ばれた。

このシステムは、コンピュータなどを使って、浄水場、排水池など最大十五か所の処理施設と五十か所の中継ポンプ場の監視ができる。施設の運用状況や水質計測値の変化などを集中監視でき、維持費の節減と省力化に役立つという。

「各集落単位で水質の違いが一目でわかる。競い合って水質浄化に努めれば、

はつらつカンパニー
小松電機産業

小松 昭夫



本社 島根県八雲村
資本金 1億円
従業員 85人
売上高 35億円
経常利益 10億円

幅広い分野に新風
「おもしろ、楽しく」理念に

環境はさらによくなる。そんな『水のオリンピック』を開きたい」と小松昭夫社長の夢は大きい。

小松社長は佐藤造機（現三菱農機）の中央研究所に勤めていたが、七一年に退社し、二年後に小松電機を創設した。八二年の「くまびき国体」で県内のインフラ整備が進むのに合わせて、「やくも水神」の基礎技術も養った。

同社の名が知られるようになったのは、八五年に本格発売した工場、倉庫用の高速自動開閉シートシャッター「門番」。超音波センサーによって自動開閉する仕組みで、毎秒七枚でビニール製シートを巻き取る。防じん、通気性に優れることから人気を集めている。

販売は年間約六千台、この分野のシェアは約六割を占める。九一年に中小企業研究センター賞、ニュービジネス大賞も受けた。

昨年には、人材を育てようとしてHNS（人間・自然・科学）研究所を設立。講師を迎え、交流の場を提供。「おもしろ、おかしく、楽しく、ゆかいに」の経営理念の下で、新たなアイデアを練り、新風を送り込む。

（山崎 茂）